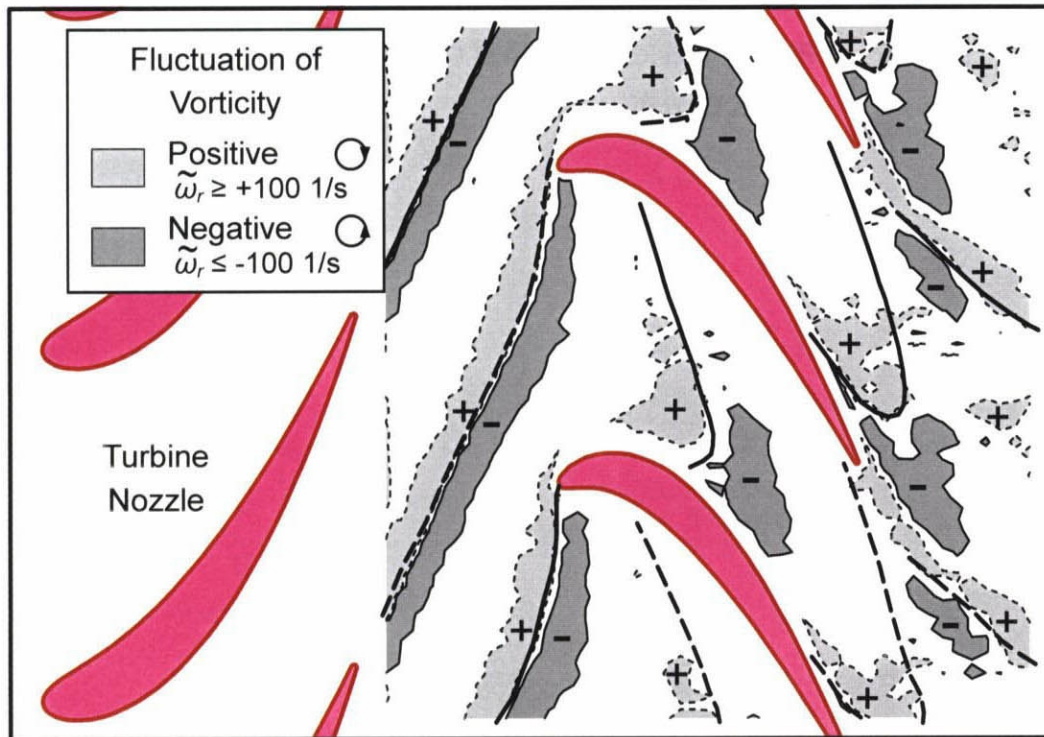
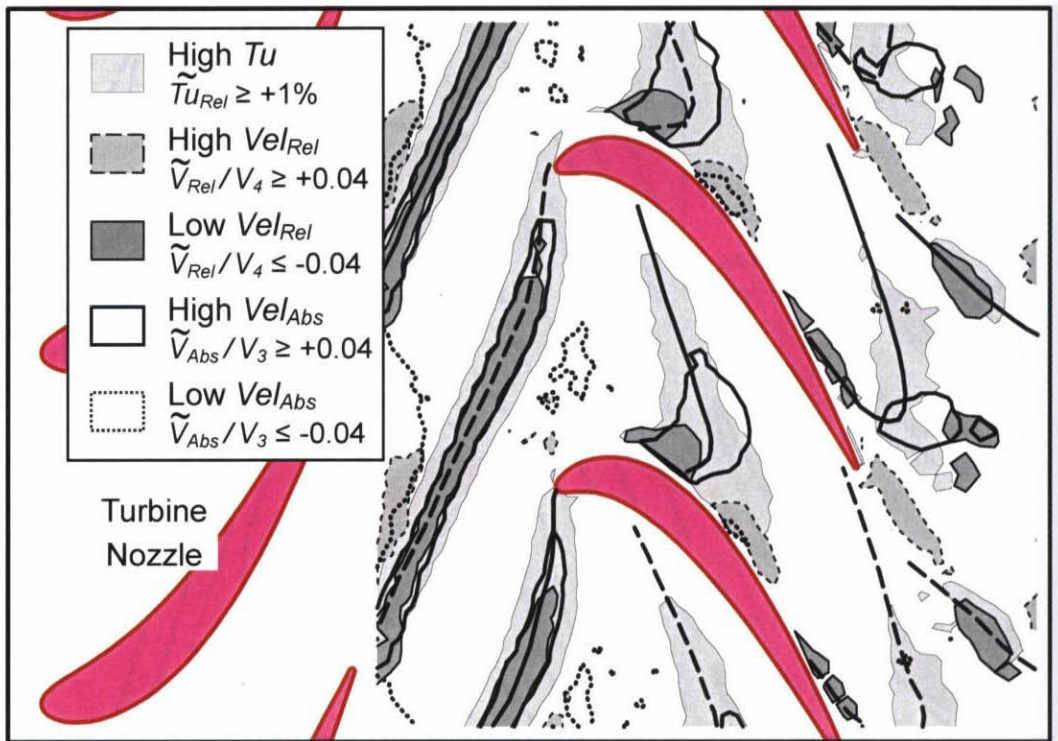


(a) 相対系での静翼ウェークの中心線



(b) 渦度変動分布

図 6.16 相対座標系における静翼ウェーク形状，渦度変動分布，速度変動分布（その1）



(c) 速度と乱れ度の変動分布

図 6.16 相対座標系における静翼ウェーク形状，渦度変動分布，速度変動分布（その2）

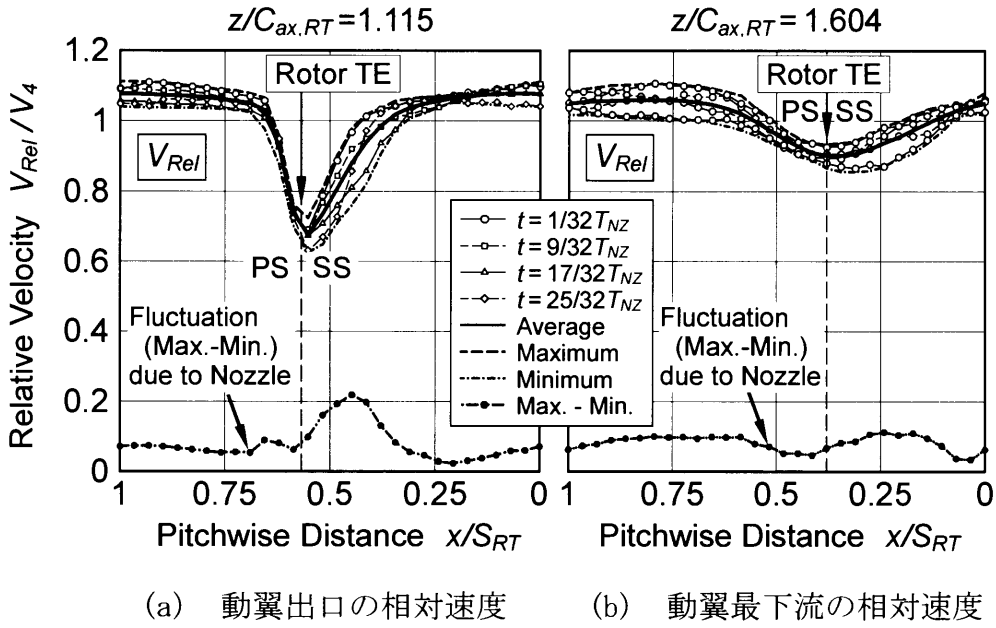


図 6.17 動翼出口と動翼最下流での相対速度のピッチ方向分布 (相対座標系)

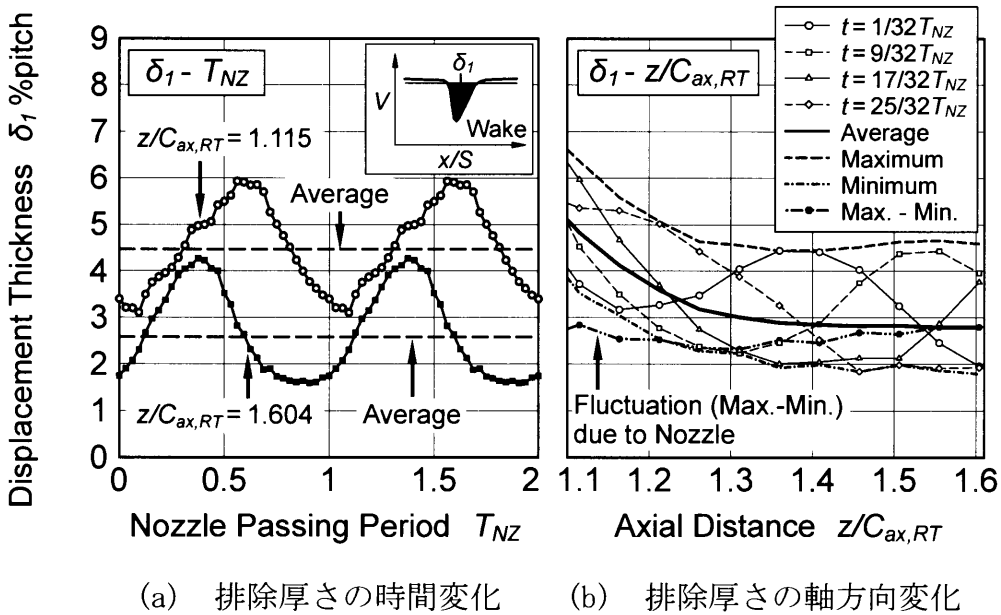
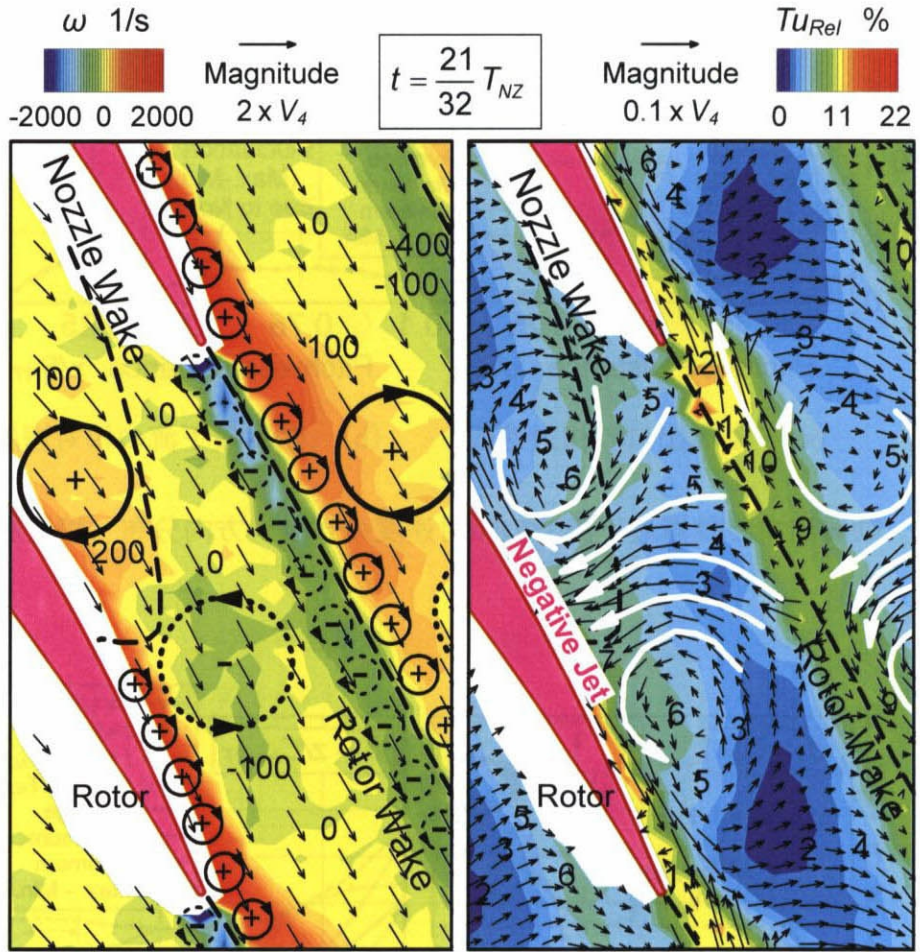
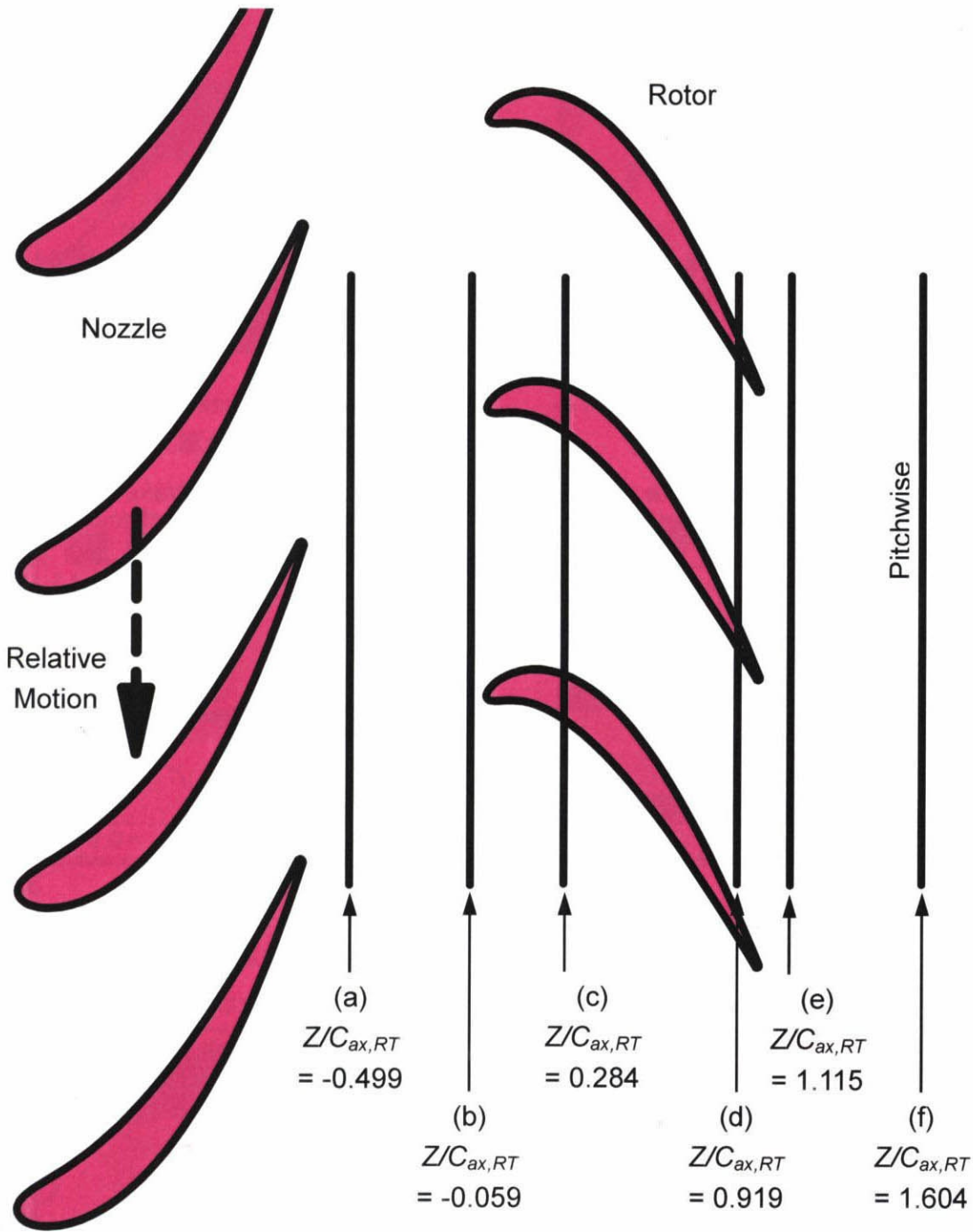


図 6.18 動翼ウェークの排除厚さの時間変化と軸方向変化 (相対座標系)



(a) 渦度と相対速度ベクトル (b) 乱れ度と速度変動ベクトル

図 6.19 動翼後縁付近の非定常流れ
(動翼後縁での静翼ウェークと動翼ウェークの干渉)



T_{NZ} : Nozzle Passing Period

図 6.20 次図（図 6.21～図 6.23）に示す各軸方向位置での相対速度，相対流れ角，乱れ度の時間変化分布における測定位置の説明

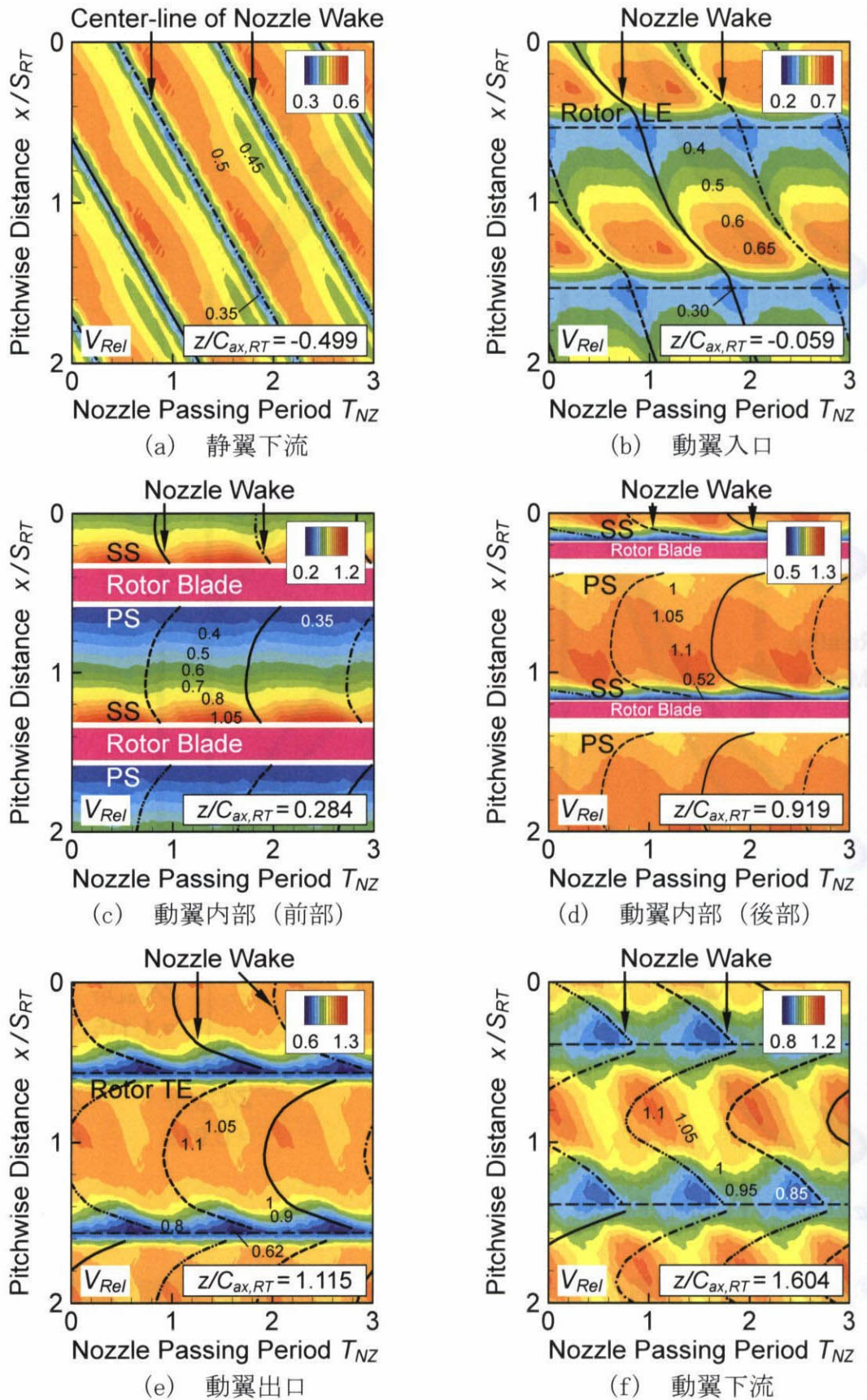


図 6.21 各軸方向位置における相対速度の時間変化 (ミッドスパン)

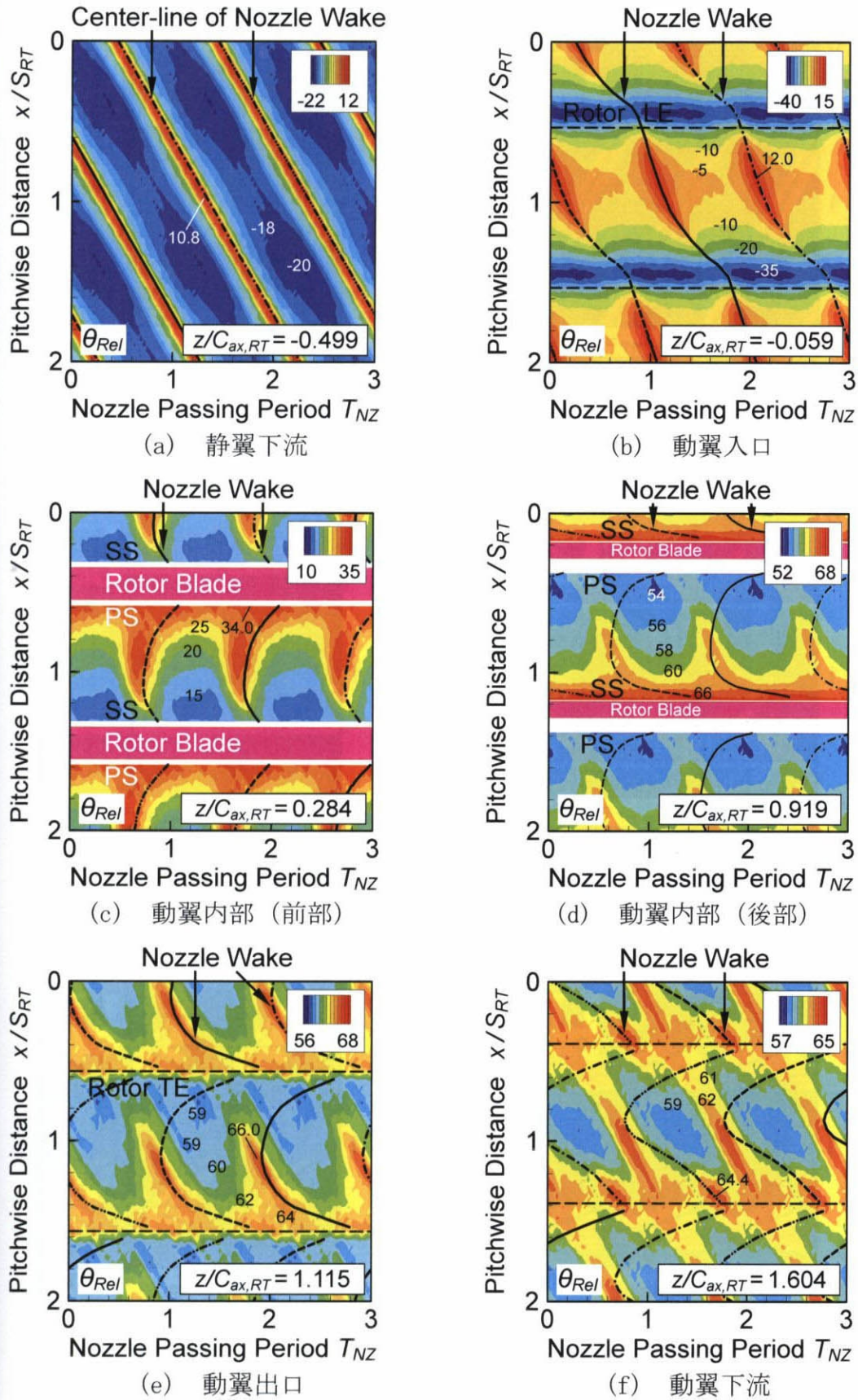


図 6.22 各軸方向位置における相対流れ角の時間変化 (ミッドスパン)

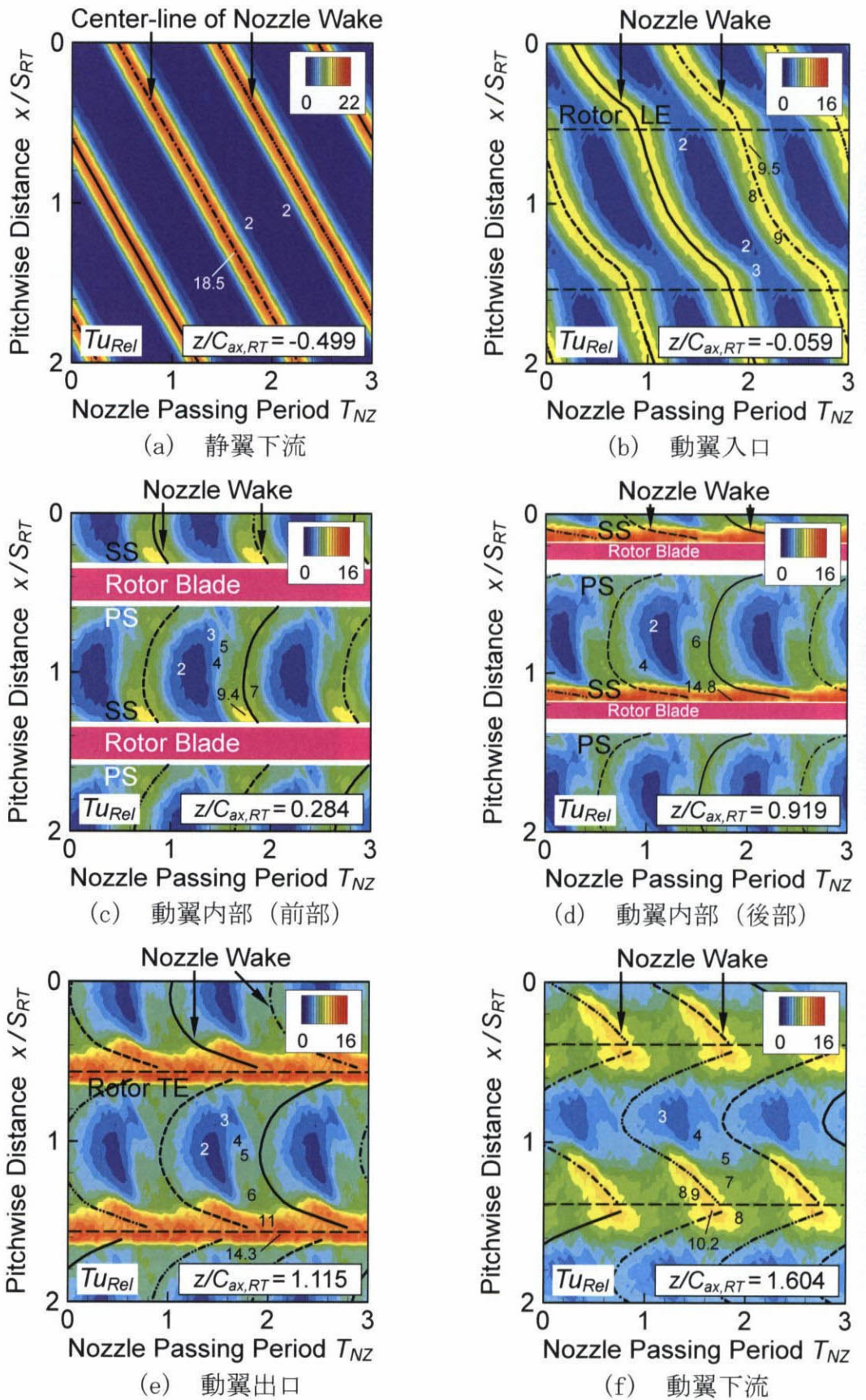
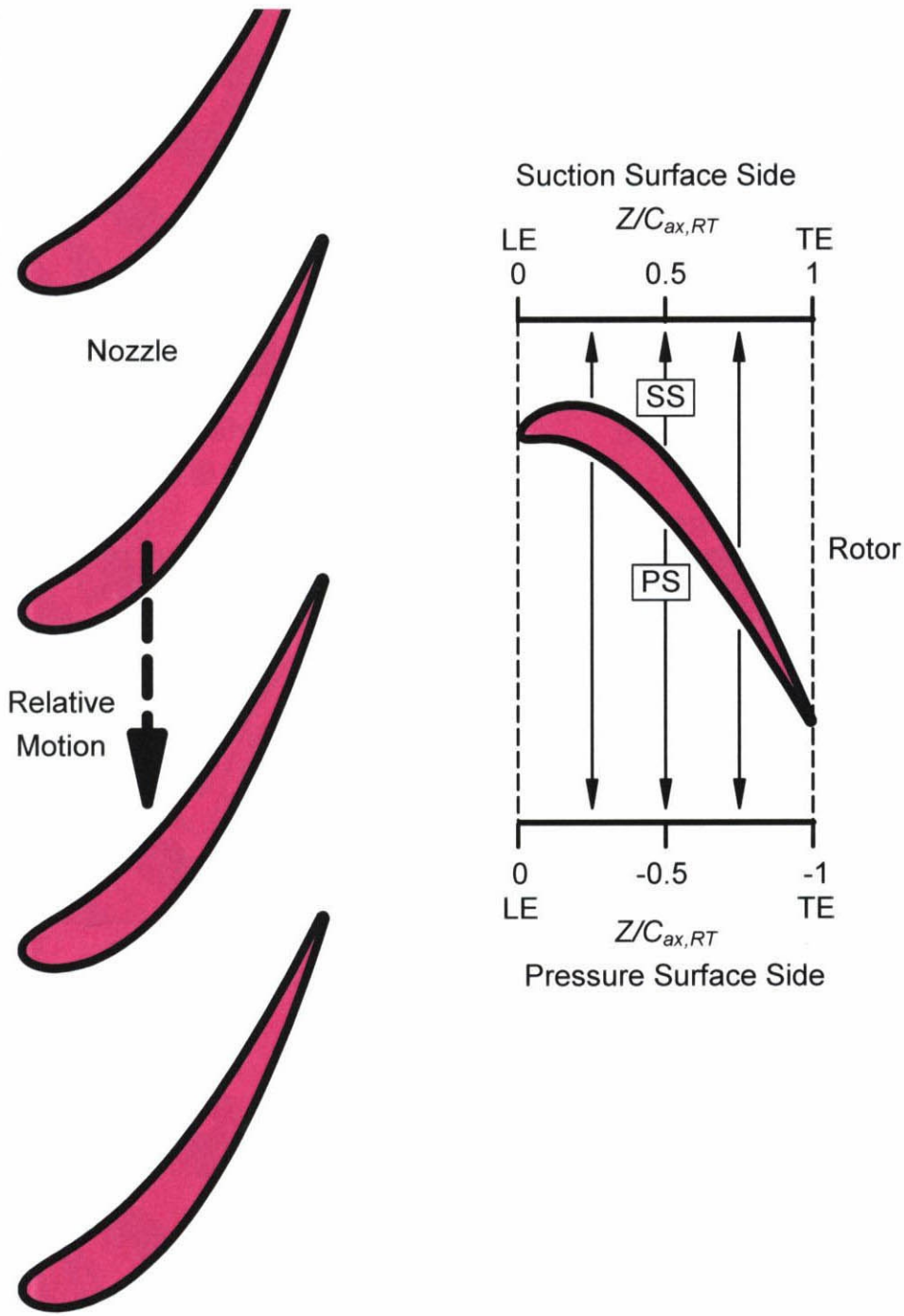


図 6.23 各軸方向位置における乱れ度の時間変化 (ミッドスパン)



T_{NZ} : Nozzle Passing Period

図 6.24 次図 (図 6.25) に示す動翼表面の非定常流れ分布における翼表面座標の説明

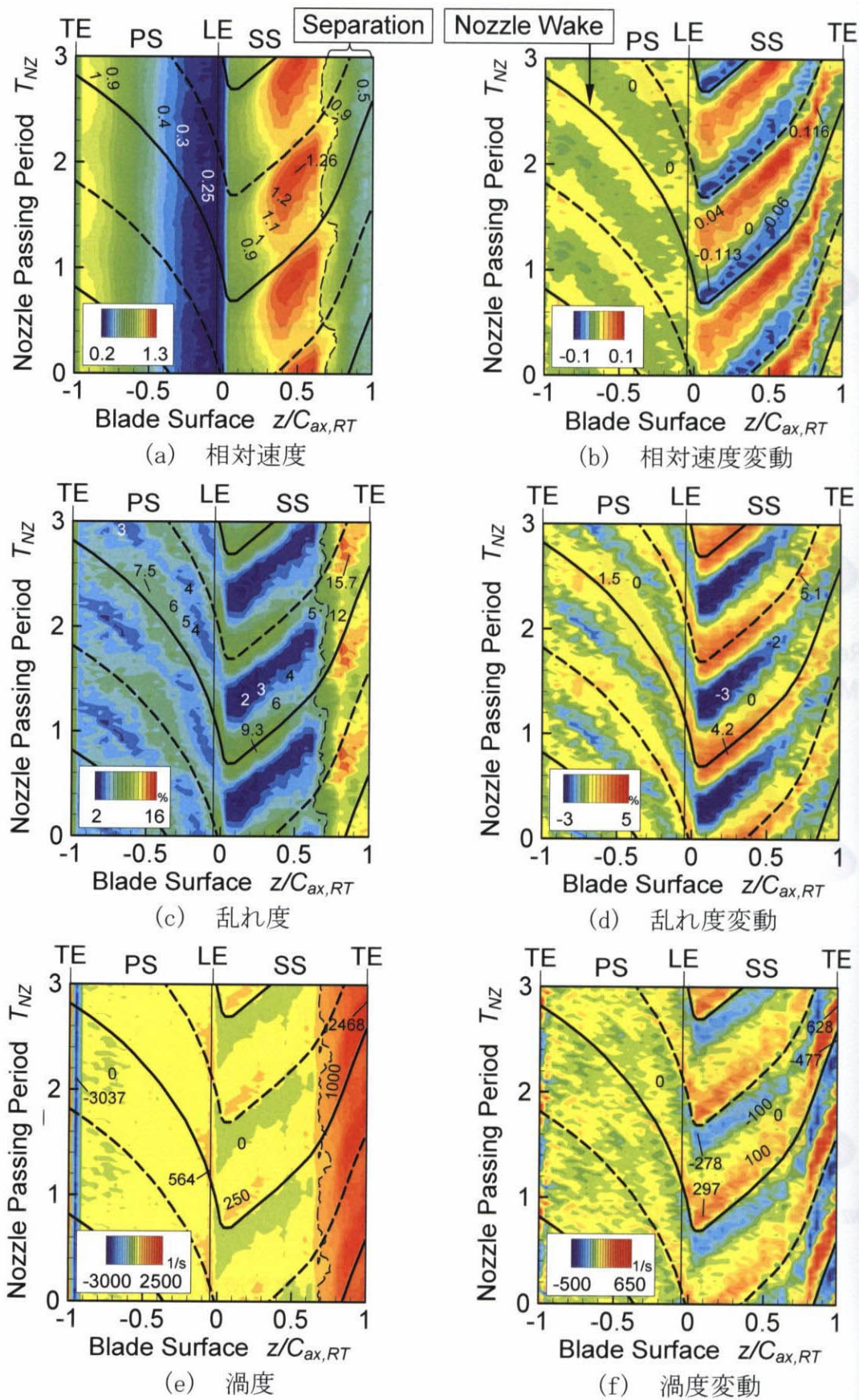


図 6.25 動翼表面近傍の非定常流れ (ミッドスパン)

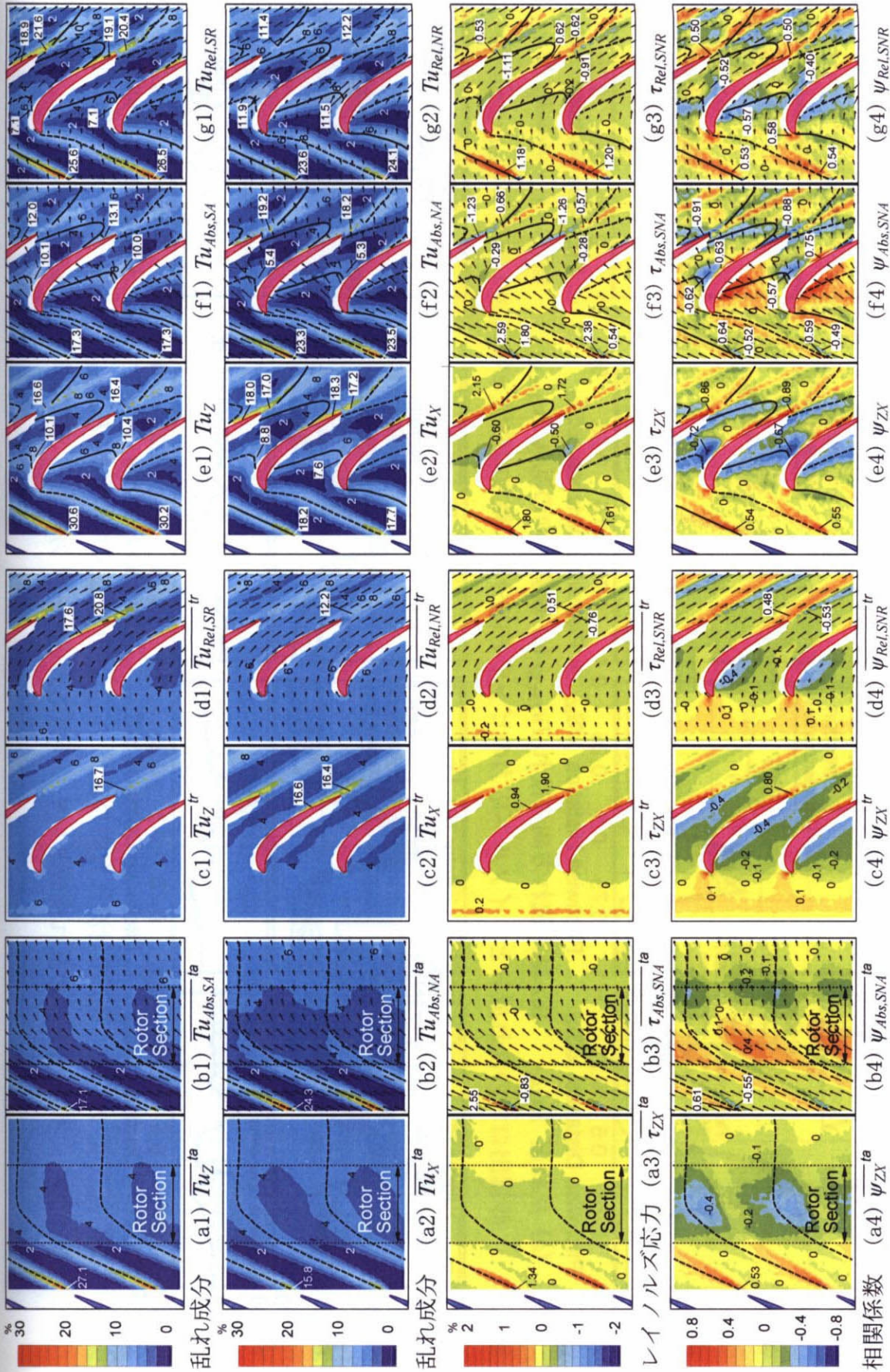


図 6.26 乱れ成分の分布 (a),(b) 絶対系の時間平均流れ, (c),(d) 相対系の時間平均流れ, (e),(f),(g) 非定常流れ $f=1/32T_{NZ}=1/29T_{RT}$

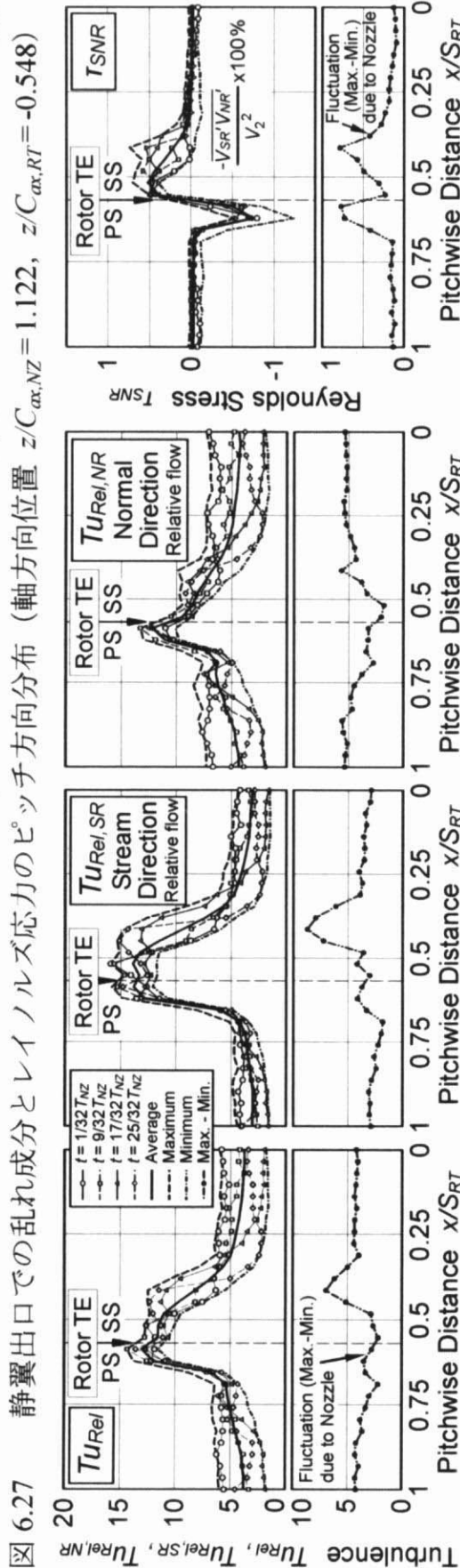
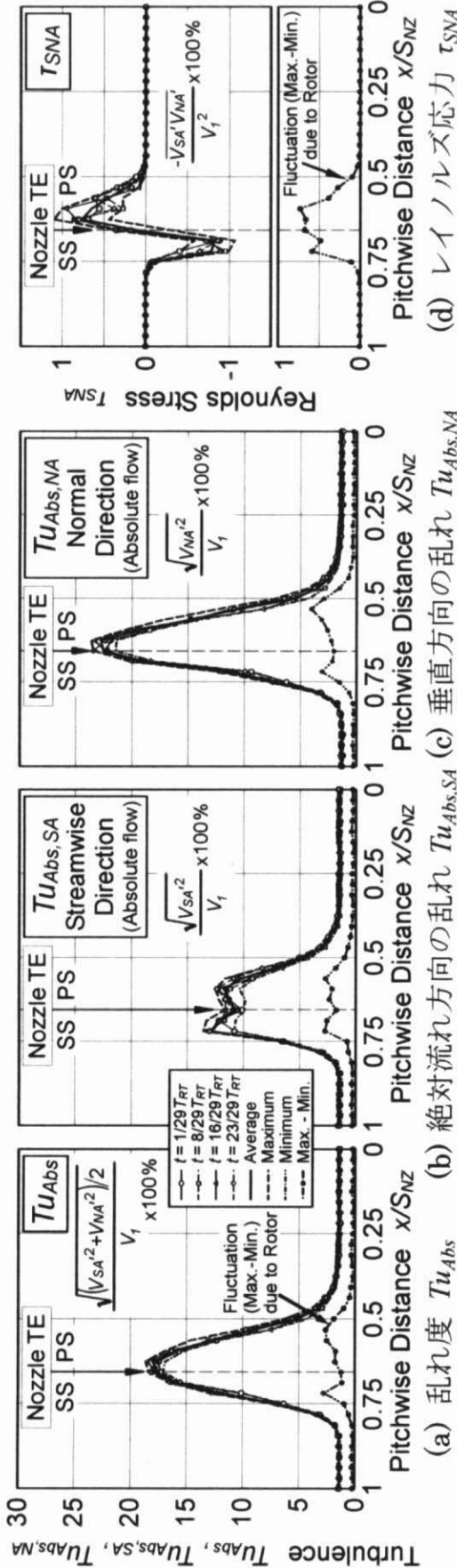


図 6.27 静翼出口での乱れ成分とレイノルズ応力のピッチ方向分布 (軸方向位置 $z/C_{\alpha,NZ} = 1.122$, $z/C_{\alpha,RT} = -0.548$)

図 6.28 動翼出口での乱れ成分とレイノルズ応力のピッチ方向分布 (軸方向位置 $z/C_{\alpha,RT} = 1.111$)